

2015~2016年度 **ROTARY INTERNATIONAL**  
**大宮東ロータリークラブ 週報**  
 第2770地区 **OMIYA EAST**  
 ローターを学ぼう  
 ローターは奉仕を通して人づくり、自分作り  
 そして楽しもう

RIテーマ  
 Be a gift to the world

ロータリー財団月間

例会日	毎週水曜日	事務局	さいたま市見沼区東大宮	会長	中内 誠
時間	12:30~13:30	TEL	5-50-9・B-2	幹事	黒須英男
例会場	武蔵野銀行 東大宮支店	FAX	048-685-0145	クラブ強化	
創立	1978年10月28日	Eメール	omiya.e.r@nifty.com	常任委員長	堀江敏一
		http://homepage3.nifty.com/omiyaeast/		広報委員長	志村 広

- 点鐘 中内 誠会長 ソング 手に手つないで  
 ビジター&ゲスト  
 ◆伊藤信男様(国際ロータリー第2770地区 ローター財団部門VTT委員会委員  
 ・川口北東ロータリークラブ)  
 ◆郭 井聯様(国際ロータリー第2770地区2014~2016年度 米山記念奨学生)

会長挨拶 中内 誠 会長



皆さん、こんにちは。11月も下旬になり、日ごとに寒さが身にしみる季節になってまいりました。北海道ですすでに積雪を観測し、関東地方でも最低気温を観測する日が続くと思えます。会員の中にも風邪をひかれている方もおられます。風邪は万病の元と昔から言われておりますので皆さんどうぞ十分健康管理にはご留意下さい。本日の卓話には大変お忙しい中、ロータリー財団部門VTT委員会委員・伊藤信男様においていただきました。ありがとうございます。伊藤様には後ほど卓話をよろしく願っています。さて、先日11月14日・15日、国際ロータリー第2770地区・2015~2016年度地区大会が「ロータリーと地域の絆」の大会テーマのもと開催されました。お忙しい中時間を割いていただき参加いただきました会員の皆様にご挨拶申し上げます。今回の地区大会本会議に先立ち、地区決議会(会長会)が開催されました。この決議会において現在貸貸で使用している第2770地区ガバナー事務所の購入が決議されました。購入についての詳細については後日地区からお知らせがあり次第皆さんにお知らせいたします。ちなみに今回の購入にあたって各クラブから改める費用負担はございません。今年度の地区大会第1日目本会議では「ロータリーの公共イメージ・ロータリーを生き生きと表現しよう」についてのセミナーが開催されました。ロータリークラブについて正確に認識している人は今でも極少数で、ロータリークラブ自体を知らない人が多くいることを認識するセミナーでした。第2日目本会議においては、「認知症について」の基調講演が開催されました。この認知症フォーラムについては、11月19日テレビ埼玉でも放映されましたのでご覧になった方もいらっしゃるのではないのでしょうか。今年度地区運営方針の「ロータリーを学ぼう、そして楽しもう」にあります新しい地域社会奉仕の実践をあらためて考える機会になりました。話しは変わりますが地区大

会が終わってすぐに、非常にタイトなスケジュールでしたが非公式でフィリピン第3800地区マリキナーロータリークラブ・ノエルパスト会長とマリキナーヒルトップロータリークラブ・ボビーレングパスト会長が来日されました。16日の羽田空港へのお迎えには三枝パスト会長・渡部会員にウェルカムパーティーには三枝パスト・東条パスト・河本エレクト・渡部会員・黒須幹事に参加いただきました。17日のゴルフには、三枝パスト、懇親会には三枝パスト・吉野会員、新会員の近藤会員・片柳会員・黒須幹事に参加いただきました。18日の観光では、東条パスト・瀬田直前会長・渡部会員に、そしてフェアウェルパーティーには堀口パスト・千代パスト・清水パスト・三枝パスト・瀬田直前・山田雅明会員・渡部会員・高橋洋文会員・横田会員・安藤会員・黒須幹事と多くの皆さんに参加していただきました。今回非公式で急な決定にもかかわらず発起人となっていただいた三枝パストにはもちろんのこと、ご協力いただいた多くの会員の皆さんには心から感謝申し上げます。マリキナーロータリークラブとの交流は私を知る限りでも、私の入会年度の故・河本順子パスト会長から8年以上にわたっています。マリキナーロータリークラブとは友好クラブでも姉妹クラブでもありません。しかし、このように毎年わたる交流があるのは皆さんの彼らに対する歓迎をみて思いますが、ロータリーの基本である奉仕と親睦。そしてロータリーの重要な精神である寛容の精神によるものかと実感いたしました。本日、例会後のパスト会長会でもマリキナーロータリークラブに対する議題がございましたが、パスト会長皆さんの活発なご意見をお聞かせいただけるようお願い申し上げます。最後になりますが、これからの寒い時期例会場のドア監視をされる会員の皆さんにはご苦労をおかけします。この例会場を使わせていただく上で欠かせない重要な役割に努めますのでご協力いただく皆様にご感謝申し上げます。本日の会長挨拶とさせていただきます。本日も皆さんよろしく願っています。

幹事報告 黒須英男幹事



1. 韓国訪日回ホームステイの依頼が地区より届いています。2016年1月8日より13日まで韓国第3750地区より訪日回りの来日が確定しています。
2. 12月のロータリーレートは1ドル120円です。
3. 11月16日~18日までフィリピン第3800地区マリキナーロータリークラブのノエルパスト会長とマリキナーヒルトップロータリークラブのボビーレングパスト会長がご越しになり、当会委員有志の皆様との友好、親睦を深めていかれました。19日早朝旅立ちの際、皆様に直しくお伝え下さいとのメッセージがありました。

地区大会報告 瀬田直前会長

地区大会で直前ガバナーより特別表彰、会員純増人数優秀クラブ賞をいただきました。11名の純増でした。これもひとえに千代会員増強・退会防止委員長をはじめとして多くの皆様のご協力により会員増強が実現しました。今後も会員増強目指して頑張りたいと思いますので宜しくお願い致します。ありがとうございます。

マリキナーRC訪日報告 三枝和男パスト会長

11月16日から19日まで多くの皆様にご歓迎、観光、ゴルフなど延べ30名の方にお世話になりました。ありがとうございます。高田パスト会長からは多額のご芳志をいただきました。この場でご報告、御礼申し上げます。ありがとうございます。

出席報告 横田勝美委員長

月日	総員	出席	猶予	欠席	MU	%
11/25	47	24	7	23	0	53.33
前回	47	33	7	14	0	71.74

スマイルBOX報告 奥山英紀委員長

◎伊藤様ようこそいらっしゃいました。卓話宜しくお願い致します。  
 \*伊藤信男様: 本日はどうぞ宜しくお願い致します。  
 \*中内誠会長・田中秋弘会員  
 \*河本博会長エレクト・黒須英男幹事・河野直行会員・三枝和男会員  
 \*岡田悦行会員・奥山英紀会員・金子泰夫会員・小林聡幹事・茂田雅良S.A.A・清水伸洋会員・志村広会員・瀬田直前会長・瀬田直前会長・高橋洋文会員・高橋光男会員・千代邦夫会員・東条和彦会員・中川賢司会員・長嶋成憲会員・堀口勝三会員・山田康博会員  
 横田勝美会員  
 ご協力ありがとうございました。  
**25円34, 000円合計662, 113円**

未定です。地区補助金は、地元、海外、小規模、短期など地区の数量で分配できます。授与と受諾の条件です。クラブまたは地区が地区委員会に申請をします。グローバル補助金は①平和と紛争予防②疾病予防と治療③水と衛生④母子の健康⑤基本的教育と識字率向上⑥経済と地域社会の発展の6つの重点分野。持続可能・計測可能・大規模・長期的・国際的であること。2つのクラブまたは地区が提唱、実施国、支援国に対して行う。授与と受諾の条件。皆様も是非グローバル補助金事業をしていただければよいと思います。寄付には年次基金、恒久基金、使途指定寄付はポリオプラス基金、ロータリー平和センター基金があります。各寄付金の認証があります。日本の寄付総額はアメリカに次いで世界2位です。これからも宜しくお願い致します。本日は有難うございました。

卓話 伊藤信男様



日頃よりロータリー財団にご理解ご協力をいただきありがとうございます。ポリオ常在国がアフガニスタンとパキスタンの2か国になりました。皆様のご協力で成果が上がっております。国際ロータリーの使命は他者に奉仕し、高潔性を推進し、事業と専門職

務及び地域社会のリーダー間の親睦を通じて世界理解親善、平和を推進することです。ロータリー財団の使命はロータリアンが健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。2015~2016年度の優先項目は1. 永久にポリオを撲滅する。2. ロータリー財団に対するロータリアンの知識の向上、参加の向上、寄付を向上させる。3. 財団の補助金と6つの重点分野を通じて、ロータリーの人道的奉仕の質と影響を高める。4. ポリオプラスにおける成果と「世界でよいこと」をしてきた100年の歴史に特に注目し財団によるこれまでの実績に対するイメージと認識を高める。ロータリー財団の内容は、

1. プログラム(使い方)とプロジェクト(事業) ①人道的プログラムとして地区補助金プロジェクト(今年度実施)、グローバル補助金プロジェクト(現在進行中) ②財団奨学金(地区補助金とグローバル補助金があります) ③職業研修チーム(VTT) ④ロータリー平和フェロシップ⑤ポリオプラスがあります。地区補助金プロジェクトは今年度実施予定は68件75クラブで国内57件、海外11件となっております。グローバル補助金プロジェクトは全11件現在進行中。財団奨学生は次年度地区補助金利用は2名ですが、グローバル補助金利用は応募がありませんので多くの推薦をお願いいたします。職業研修チームの目的は専門職業人を海外に派遣研修スキル、知識を提供することです。2013~2014年度はアメリカのサンディエゴにアルツハイマー症についての研修に行きました。2014~2015年度はスウェーデンにより老人医療介護の職業研修派遣をしました。これにより井原ガバナーは認知症についてやろうというところでつながっております。2025年問題で団塊の世代が後期高齢者となり、認知症の人が700万人になると言われています。今年度はフィリピンに超音波健康診断システム(仮称)を派遣予定です。ロータリーフェロシップ国際基督教大学に世界の6大学から留学生を受け入れています。目的は国際関係、平和、紛争解決を推進するリーダーを育成することです。ポリオについては2018年地球上からポリオ撲滅宣言をする事が目標です。財団の資金の流れはどのようなことかシェアシステムにより年次寄付と恒久基金の収益を3年後1/2を地区財団活動資金(DDF)1/2を国際財団活動資金(WF)とします。今年度の地区補助金は146, 618ドル、グローバル補助金は262, 144ドルその他財団奨学金、職業研修チームの予算があります。寄付額は未定です。地区補助金は、地元、海外、小規模、短期など地区の数量で分配できます。授与と受諾の条件です。クラブまたは地区が地区委員会に申請をします。グローバル補助金は①平和と紛争予防②疾病予防と治療③水と衛生④母子の健康⑤基本的教育と識字率向上⑥経済と地域社会の発展の6つの重点分野。持続可能・計測可能・大規模・長期的・国際的であること。2つのクラブまたは地区が提唱、実施国、支援国に対して行う。授与と受諾の条件。皆様も是非グローバル補助金事業をしていただければよいと思います。寄付には年次基金、恒久基金、使途指定寄付はポリオプラス基金、ロータリー平和センター基金があります。各寄付金の認証があります。日本の寄付総額はアメリカに次いで世界2位です。これからも宜しくお願い致します。本日は有難うございました。